

## 別記様式(第5条関係)

## 会 議 録 概 要

会 議 名	令和5年度第1回三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
開 催 日 時	令和5年11月1日 (水) 15時00分開会 16時30分閉会
開 催 場 所	庁舎5階 502会議室
主 宰 者 氏 名	三芳町
出 席 者 氏 名	朝倉会長・田村職務代理・長谷川委員・安藤委員・島村委員
欠 席 者 氏 名	柏倉委員・山崎委員
事 務 局 職 員	政策推進室 室長・副室長・主幹・主査
議 題	1) 次期総合戦略の策定案について 2) 三芳町人口ビジョン案について
会議結果	ご意見を参考に、戦略素案・人口ビジョン修正案を策定する。
会議経過	別添のとおり
会議資料	別紙のとおり
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果

	<p>1 開会 2 委員へ委嘱状交付 3 諮問 4 会長挨拶 5 議事 1) 次期総合戦略の策定案について</p> <p>事務局より、「次期総合戦略の策定案について」の説明があった。</p> <p>(意見・質問) 委員 ひとの流れをつくるという観点から、世界農業遺産を起点とした具体的な考えはあるか。</p> <p>事務局 今回の認定については、町としても大きなポテンシャルを秘めていると感じている。観光やガーデンツーリズムに活かしていきたいと考える。また、(仮称)三芳バザール賑わい公園構想にも活かしていきたいかどうか検討していきたいと考える。</p> <p>委員 農産物販売や貸し農園なども考えられるが、専門家に携わってもらうことが大切だと考える。</p> <p>委員 野菜を作るだけでなく売り場という観点もデジタルを絡めていく必要があるのではないかと考える。また、東京にも近く、通勤・リモートワークの両方が可能な町の立地を考えると、観光だけでなく住む場所として定住人口を確保するという点に軸足を置いた方が良いとも考える。</p>
	<p>2) 三芳町人口ビジョン案について</p> <p>事務局より、「三芳町人口ビジョン案について」の説明があった。</p> <p>(意見・質問) 委員 人口推計パターンについて、パターン1とパターン2-①では2060年の人口が7,000人程変化するが、何か大きな要因があるのか。</p> <p>事務局 パターン1の根拠としている調査が国勢調査となる。この調査は5年に1度の調査になるため、1回ごとの調査結果に大きな差が出てくると思われる。そのため、その結果に基づく推計値となっている。一方、パターン2-①は町の住民基本台帳を根拠としている。住民基本台帳は毎年集計されるため、大きな差が出ないという点で違いが出る。</p> <p>委員 町には新しい住宅地ができているのにも関わらず、埼玉県や国と比較して合計特殊出生率が低い点に驚いている。若い世代の流入がまだ少ないのか。</p> <p>事務局 転出入の年代を見た時に、30歳を過ぎて、子どもを1人産んだ後に、マイホームを求めて転入する人が多い場合、子どもをもう1人産むか産まないかということも影響する可能性はある。</p>

委員	農地が多く、町には住む場所が少ないため、若い世代は町外に出ていってしまう。賃貸のアパート等は町には少ない。さらに、家を建築するのも難しい町だと感じる。そして三芳町は土地も高いという点も住宅を建てづらい要因ではないか。
委員	農地に関する法律を変更することは難しいのか。
事務局	難しいと考える。
委員	<p>若い世代が住みやすい賃貸物件を増やすような策ができると、若い世代も住んでみようと思うかと。こうした住宅関連の施策も考慮してほしいと思う。</p> <p>3) その他について</p> <p>事務局から「今後のスケジュールについて」の説明があった。</p> <p>6 職務代理挨拶</p> <p>7 閉会</p>